

科目名	聴覚障害学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>聴覚障害のリハビリテーションの概要を理解した上で、臨床に必要な理論的基礎を習得する。</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>聴覚障害の特徴、評価法・指導法を学ぶ。</p>							
<p>〔講師の実務経験〕</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <p>聴覚障害の特徴を理解し、リハビリテーションに必要な評価法、指導法の基礎を習得する。</p>							
回数	講義内容						
1	聴覚障害の理解						
2	聴覚の発達と評価(1)						
3	聴覚の発達と評価(2)						
4	リハビリテーション概論(1)						
5	リハビリテーション概論(2)						
6	聴覚活用法(1)						
7	聴覚活用法(2)						
8	聴覚活用法(3)						
9	聴覚活用法(4)						
10	視覚聴覚二重障害の実態について①						
11	「ある盲ろう者の生活から」(ビデオ視聴)						
12	手話・指文字の演習(ビデオ視聴)①						
13	" ②						
14	" ③ (音声、身振り、文字、AAC等)						
15	まとめ						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
なし・配布プリント							
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。</p>							